



ジェネックス今月のトピックス♪



2016年4月1日より電気の小売業への全面自由化が始まりました。これにより家庭や商店も含む全ての消費者が、電力会社や料金メニューを自由に選択できるようになりました。ライフスタイルや価値観に合わせ、電気の売ってやサービスを自由に選べるようになりました。

電力自由化の歴史

電力の小売自由化は、工場などの大口消費者については、すでに実現しています。最初の小売自由化は、2000年3月に始まりました。はじめは、「特別高圧」区分の大規模工場やデパート、オフィスビルが電力会社を自由に選ぶことができるようになり、新規参入した電力会社「新電力」からも電気を購入することが可能になりました。その後、2004年4月・2005年4月には、小売自由化の対象が「高圧」区分の中小規模工場や中小ビルへと徐々に拡大していきました。そして、2016年4月1日からは、「低圧」区分の家庭や商店などにおいても電力会社が選べるようになりました。(参考:経済産業省ホームページ)



電力切り替え状況



経済産業省の認可法人、電力広域的運営推進機関では10日、電力小売りの全面自由化で、新規参入事業者に契約を切り替えた世帯が4月30日時点で全国で81万9500件に達したと発表しました。全国の総契約数(6260万件)の約1.3%だが、前回の同22日時点と比べ約7万5000件増加。同1日に全面自由化が始まった後も件数は徐々に増えている。今後も新料金プランに差が生じてれば、切り替えの動きが加速していきそうです。(参考:Sankei Biz)

世の中の動き

エネ教育はいま <教える、学ぶ、いまを知る>

経済産業省・資源エネルギー庁は今年度、全国10地域でエネルギー教育推進の拠点となる「地域会議」を整備する。学校や教育委員会、経済産業局、電力・ガス事業者などが参加して、教材の開発や提供、公開授業を行い、学校での教育実践を支援していく。地域特性を生かしたカリキュラムづくり、エネルギー施設立地圏と消費地との交流といった活動を支援する全国会議も設ける。

<電気新聞>

エコキュート累計出荷台数、500万台を突破着実に普及 5/9
小売電気事業者契約変更申し込み、84万件に 5/16
2020年度新電力シェア10% 5/17

<日経新聞>

電力自由化、英国の先達語る「再エネ100%」の価値 4/27
水道事業の受託ビジネス急拡大 コスト削減の切り札 5/17
パナが世界一奪還 太陽電池、激化する変換効率競争 5/17



※地代や賃借料の払い忘れにお気を付け下さい※

「ジェネックス通信」毎月1回発行 「いつでもお問い合わせください。」